

# 御田小 研究だより

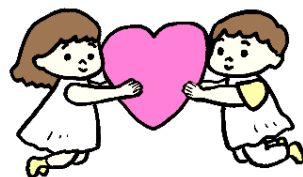
家庭数

令和2年8月25日  
港区立御田小学校  
校長 濱尾 敏恵

御田小学校では、今年度「人権教育」をテーマに校内研究を行っています。

低学年の人権教育目標

- ★自分のよさや友達のよさが分かる
- ★相手の気持ちを考えて関わろうとする



第1回 研究授業報告

7月15日(水) 2年1組 授業者 油 史枝  
道徳科「お手紙 書いたよ」

【授業のねらい】

〇日頃より、自分の世話をしてくれている人の気持ちを考えることを通して、日々の生活を支えてくれている人の善意に気づき、感謝の気持ちを持ち、その思いを伝えていこうとする態度を育てる。

【人権教育の視点】

学校でお世話になっている人や、地域の人々など、自分たちの生活を支えてくれている人々の思いを考えることを通して、感謝の気持ちを持ち、すすんで感謝の気持ちを伝えようとする態度を育てる。

【授業の工夫】



**関わり合いの場面作り**

ペアで話し合うことにより、友達の考えを受け入れたり、自分の考えを広げたりするきっかけを作ることができました。



**学びの実感をもたせる工夫**

主事さんに気持ちを伝える場面を設定することで、感謝の気持ちをもって接することの大切さを実感することができました。

**一人一人のよさを引き出す工夫**

自分が感じた感謝の気持ちを率直に表すことができるように、一人一人が考えを整理しました。



**学びの実感をもたせる工夫**

学習の後半には、主事さん以外の自分たちの身近にいる自分たちを支えてくれている人への接し方を考えました。自己の経験を振り返って、自分たちにできることをノートにまとめました。



〈授業を終えて〉

今回の授業では、用務主事の仕事の様子を詳しく知ることにより、自分たちがどんなことでお世話になっているのか、具体的に気付くことができました。そして、自分たちが安心して生活できるように、大変な仕事を行っていることに対する感謝の気持ちを持ちました。さらに、授業の最後に、用務主事に直接感謝の言葉を述べる機会をもつことで、これから自分ができることにはどんなことがあるか、考えを深めました。

今回の授業を生かして、身近にいる自分たちの生活を支えてくれている人々への感謝の気持ちを大切にできるよう指導していきます。